



Infectious Diseases Weekly Report City of Kita

感染症発生動向調査／東京都北区感染症週報

2012年51-52週（平成24年12月17日～平成24年12月30日）

東京都北区感染症情報センター 電話 03（3919）3102

東京都北区では、東京都北区感染症発生動向事業実施要綱を定め、感染症法に基づく感染症の情報の収集、整理、分析及び情報の公開等を行っています。

東京都北区感染症週報では、感染症発生動向事業に基づき最新の感染症情報を公開をしています。

東京都及び厚生労働省による集計分については下記のインターネットのホームページでご覧になれます。

○東京都感染症情報センターのホームページアドレス

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/weekly/index-j/>

○厚生労働省／国立感染症研究所感染症情報センターのホームページアドレス

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr-dl.html>

I 感染症別報告数（週別推移）

1.全数把握対象感染症

対象疾患	2011年	2012年							
	累計	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	累計
(二類感染症) 結核	154	4	2	0	4	1	2	3	122
(三類感染症)	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	4
	腸管出血性大腸菌感染症	3	0	0	0	0	0	0	5
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
(四類感染症)	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	0	0
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	3	0	0	0	0	0	0	1
	レプトスピラ症	1	0	0	0	0	0	0	0
(五類感染症) 全数報告	アメーバ赤痢	1	0	0	1	0	0	0	3
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	6	0	0	0	0	0	0	3
	ジルアアジア症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	0	0	0	1
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	風しん	0	0	0	1	0	0	0	9
	麻しん	4	0	0	0	1	0	0	1

2.定点把握対象感染症(月報告) (五類感染症)

対象疾患	定点医療機関数	2012年							
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
		報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数	報告数
性器クラミジア感染症	1	0	1	2	0	1	0	1	0
性器ヘルペスウイルス感染症	1	1	0	0	1	0	0	1	0
尖圭コンジローマ	1	2	2	3	2	3	0	4	3
淋病感染症	1	0	1	0	0	0	0	1	0
トリコモナス症(注)	1	0	0	0	0	0	0	0	0
梅毒様疾患(注)	1	0	0	1	0	0	0	0	0

(注3) トリコモナス症、梅毒様疾患は東京都が独自に指定する疾患。

3. 定点把握対象感染症(週報告) (五類感染症)

対象疾患	定点医療機関数	2012年							
		49週		50週		51週		52週	
		報告数	報告数／定点	報告数	報告数／定点	報告数	報告数／定点	報告数	報告数／定点
RSウイルス感染症	7	1	0.14	6	0.86	2	0.29	0	0.00
咽頭結膜熱	7	4	0.57	3	0.43	1	0.14	2	0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	1	0.14	2	0.29	2	0.29	0	0.00
感染性胃腸炎	7	184	26.29	189	27.00	149	21.29	86	12.29
水痘	7	16	2.29	20	2.86	12	1.71	12	1.71
手足口病	7	2	0.29	8	1.14	6	0.86	1	0.14
伝染性紅斑	7	0	0.00	0	0.00	1	0.14	0	0.00
突発性発しん	7	5	0.71	8	1.14	4	0.57	4	0.57
百日咳	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	7	0	0.00	4	0.57	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎	7	9	1.29	7	1.00	4	0.57	6	0.86
川崎病(注1)	7	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
不明発しん症(注1)	7	1	0.14	1	0.14	0	0.00	0	0.00
インフルエンザ(注2)	11	2	0.18	3	0.43	19	1.73	86	7.82
急性出血性結膜炎	1	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎	1	0	0.00	1	1.00	1	1.00	0	0.00

(注1) 不明発しん症、川崎病は東京都が独自に指定する疾患。

(注2) 鳥インフルエンザ感染症を除く。

II 概況

■全数報告感染症

結核の発生が第51週2件、第52週3件。その他感染症の発生の届出はなし。

■感染性胃腸炎

東京都では12月6日(第48週)に都全域に流行警報を発令しました。北区では、第50週27.00をピークに第51週21.29、第52週12.29と減少していますが、依然として集団感染も多く発生しており、家庭、学校及び施設等並びに食品を扱う方は特に手洗い等の感染予防対策を万全を期してください。

●感染性胃腸炎の予防対策 <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/620/062005.htm>

■インフルエンザ

インフルエンザの発生が第51週1.73から第52週7.82と急激に増加しています。例年、この時期より感染が拡大しており、家庭、学校及び施設等での咳エチケットの徹底等の感染予防対策を万全を期してください。

■その他の定点感染症

水痘の発生が集団等で報告されています。その他突発性発しん及び流行性耳下腺炎等の発生がみとめられますが、特異な発生とはなっていません。

III 医療機関からのコメント

■(王子地区)今の冬初めて、クリスマス連休明けより、ものすごい勢いでインフルエンザの患者が増えました。(第52週)

■(王子地区)相変わらず感染性胃腸炎は多いですが、インフルエンザも成人を中心に増加しています。(第51週)

■(王子地区)水痘の冬の流行が近年は普通になりました。感染性胃腸炎はやや減少し、今冬初のインフルエンザ患者(A型)がありました。(第51週)

IV 注意情報・お知らせ

■感染性胃腸炎

都内での感染性胃腸炎の流行警報

都全域での感染性胃腸炎の患者報告数が、流行警報基準を超えましたことにより、東京都は12月6日、感染性胃腸炎の流行警報を発令いたしました。 ●<http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2012/12/20mc6200.htm>

例年、11月から2月にかけての時期は、保育園や幼稚園、高齢者施設などを中心にノロウイルス等を原因とする感染性胃腸炎の集団感染が多数報告されています。これからの時期においては、各施設において、手洗いの徹底や施設の衛生的管理など、感染症の予防のため特に注意し対策を行うことが必要です。

■インフルエンザ、感染性胃腸炎の疫学調査の開始について

2012-13年シーズンのインフルエンザ及び感染性胃腸炎の各種サーベイランスが第35週より開始されます。情報の解析、集積を行うことにより、平常時のデータと比較することで、流行規模や病原性等を判断する材料とされます。

東京都全域で集約、分析され、随時、東京都のホームページで公開される予定です。

■都内における風しんの流行について

本年1月より近畿地方にて患者の報告数が増加していました。都内でも7月より患者数が急増しており、注意喚起のプレス発表をしています。予防対策等に万全を期すようお願いします。

●東京都プレス発表 <http://www.metro.tokyo.jp/INET/OSHIRASE/2012/07/20m7cb00.htm>

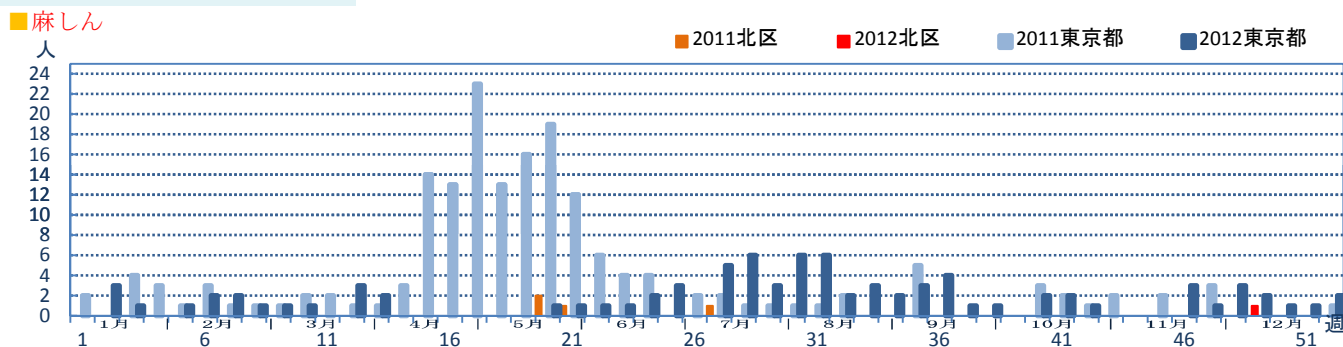
■麻しん

国では、麻しん排除計画を策定し、2012年までの排除達成を進めています。麻しんの定期予防接種の対象者で未接種の方は、できるだけ早くワクチン接種を受けましょう。詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

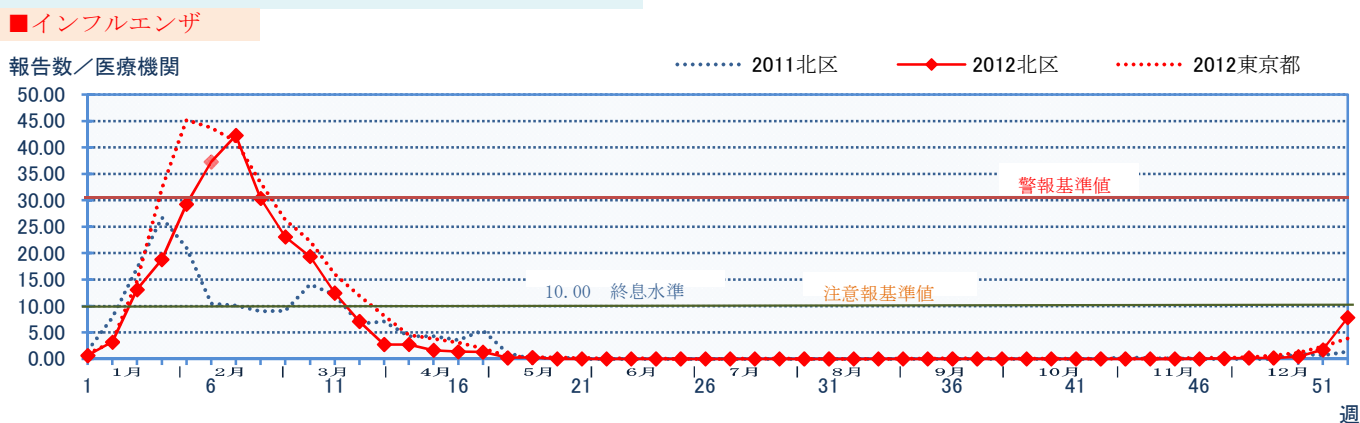
●予防接種一覧 <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/167/016751.htm>

V 感染症別グラフ

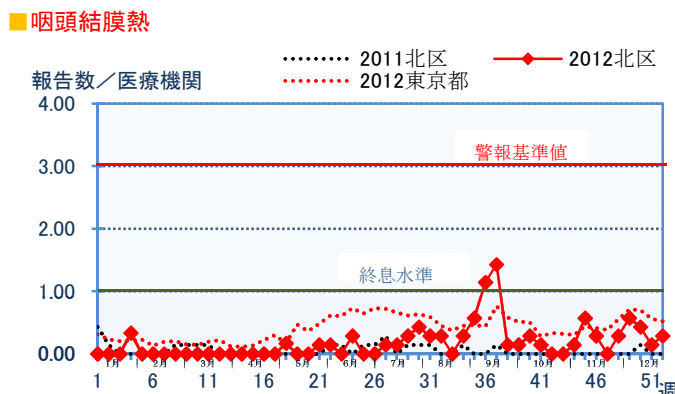
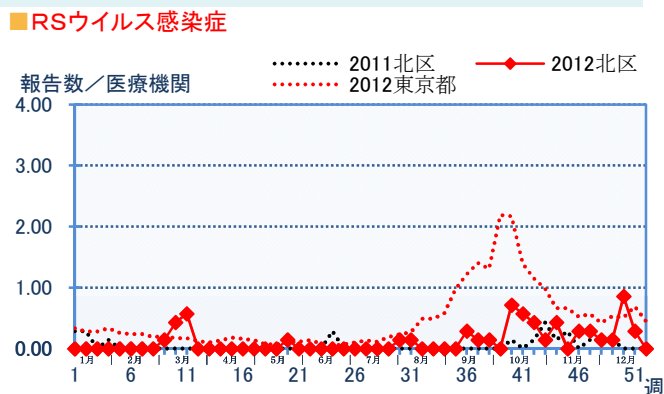
1.全数把握対象感染症



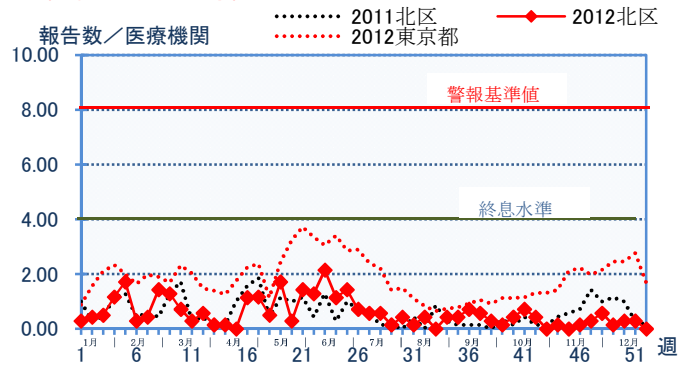
2.定点把握対象感染症(週報告) 内科定点



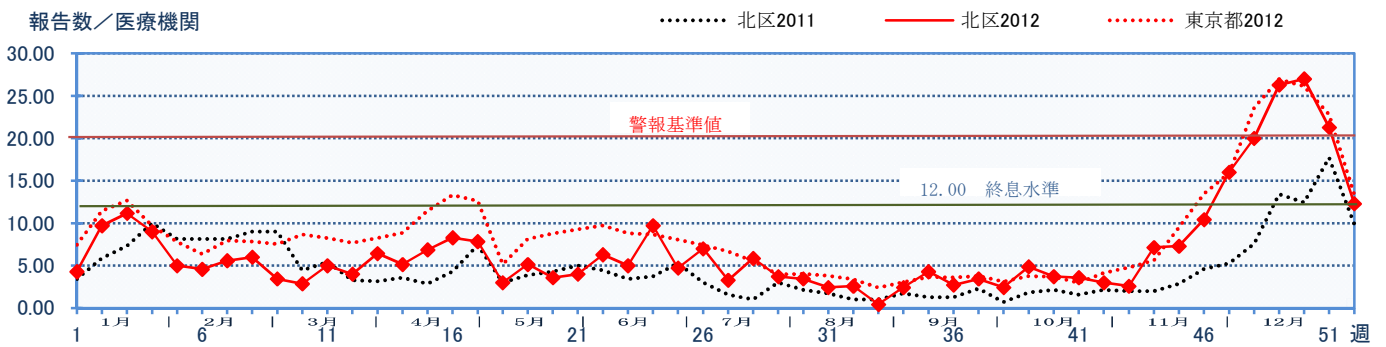
3.定点把握対象感染症(週報告) 小児科定点



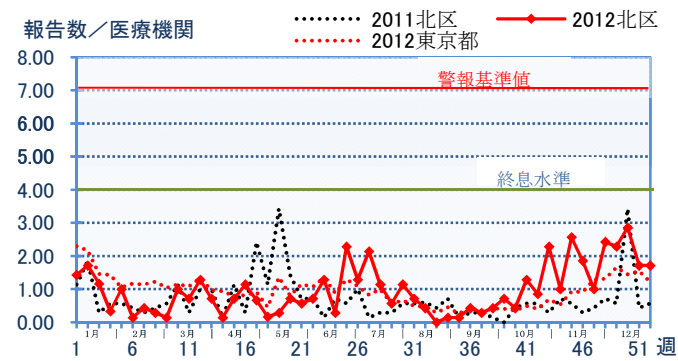
■ A群溶血性レンサ球菌



■ 感染症胃腸炎



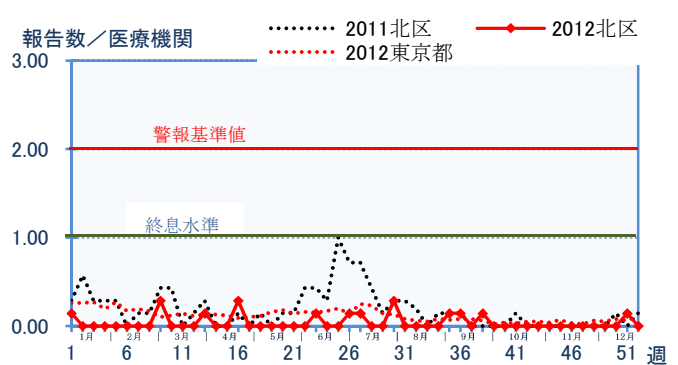
■ 水痘



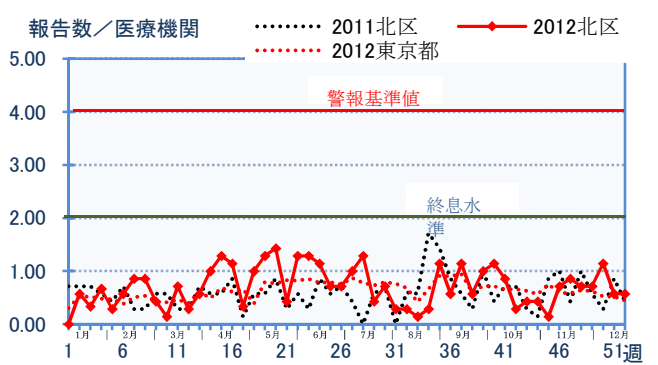
■ 手足口病



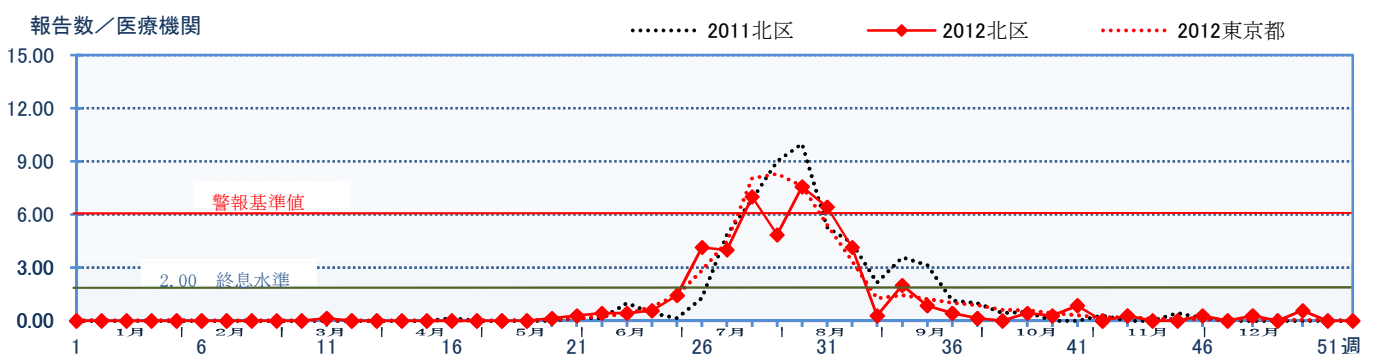
■ 伝染性紅斑



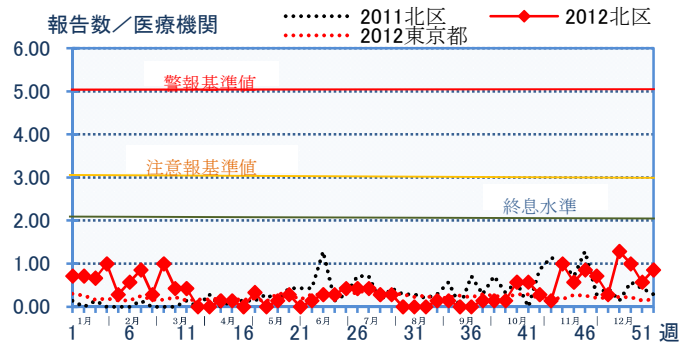
■ 突発性発しん



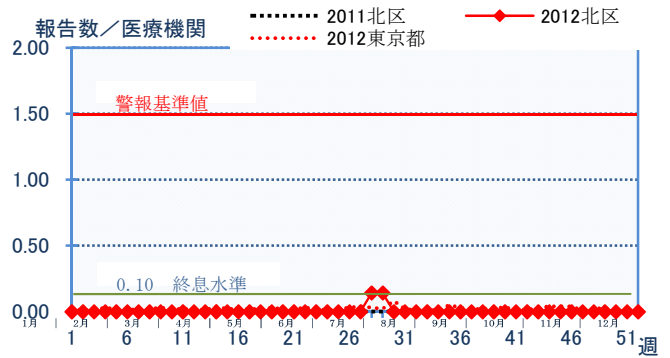
■ ヘルパンギーナ



■流行性耳下腺炎

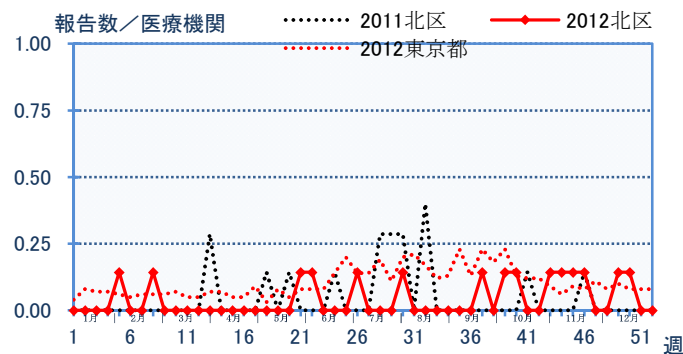


■百日咳



4.東京都独自指定疾患

■不明発しん症

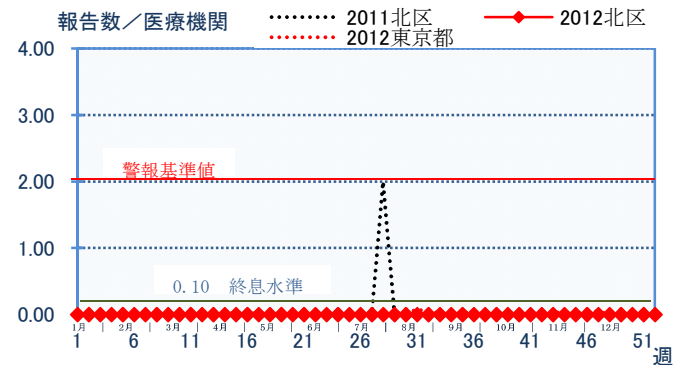


■川崎病

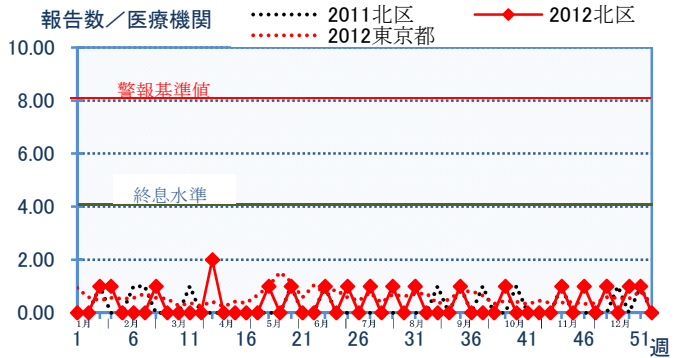


5.定点把握対象感染症(週別) 眼科定点

■急性出血性結膜炎



■流行性角結膜炎



6.定点把握対象感染症(月報告) 性感染症

定点報告感染症のうち、月報告の感染症である以下の性感染症については、該当月の結果は翌月始めに報告されるため、前月までの結果を掲載しています。
 ※2012年12月分は2013年第1週にて公開予定です。

■性感染症

